

令和5年度NPO活動促進助成事業 採択事業の紹介 (事務局作成抜粋版)

採択事業	SDGs推進事業	採択分野	平和分野	交付決定額	226,000円
法人名	特定非営利活動法人 オハナプロジェクト				
事業名	産前産後の親子の健全育成事業				

事業収支予算

収入

項目	金額(単位:円)	主な内容
助成額	226,000	
自己資金	20,000	
事業収入等	9,000	参加費
その他	0	

支出

項目	金額(単位:円)	主な内容
会場費	150,000	会場使用料
通信運搬費	0	
旅費交通費	0	
消耗品費	25,000	印刷用消耗品等
備品費	0	
委託費	0	
謝金	20,000	講師謝金
人件費	60,000	助産師人件費
その他	0	

事業費合計 255,000

事業計画

事業の目的

- 専門職と地域ボランティアが連携し、乳幼児と保護者が安心、安全に過ごせる居場所づくりを通して、乳幼児が健全に育成できる生活環境の整備に向けた働きかけ(母子健康相談や育児相談等)を行うとともに虐待の早期発見と予防をする。

事業の内容

- 親子のひろばクブ:0歳~3歳の年度末までのこどもとその保護者を対象とした居場所づくりの活動。こども向けのあそび企画、保護者向けのあそび企画を交えながら、参加者同士の交流の機会を創出する。また、昼食は「みんなで食べよう」スタイルで、拠点でボランティアが調理した昼食と一緒に食べる。離乳食、幼児食に配慮したメニュー構成と、子育てのお悩みとして非常に多い「こどもの食」へのアプローチを行う。
- 産後ケアDAY:助産師、保育士等の国家資格者による、産後ケア事業、通所型、交流型のガイドラインに沿った活動。助産師や保育士の監修の下、参加者同士の自然なおしゃべりの場を設け、交流を促進する。同じくらいの月齢のこどもの育児中の家庭が抱えやすい困りごとを参加者同士で共有し、様々な意見や考え方に触れることで、参加者自身の困りごとや考えを整理していく狙いがある。

事業の効果

- 市内及び近隣地域の乳幼児とその家族への効果:保護者自身の心身の不安や育児不安、孤独育児の解消により、安定した子育て生活環境が整うことによる健全育児(児童虐待の防止、予防)の実現。
- スタッフ(助産師、保育士、地域ボランティア等)への効果:国家資格者が専門職として産後ケアに重点的に取り組む機会の創出と経験の蓄積。また、地域ボランティアとの連携による専門職の業務軽減。専門職の指導、研修により産後ケア事業の新規担い手の確保。